



# 秋桜だより

第 29 号 平成 30 年 8 月 発行  
 埼玉純真短期大学 秋桜会事務局  
 〒 348-0045 埼玉県羽生市下岩瀬 430  
<http://www.sai-junshin.ac.jp>

西日本豪雨により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

## 会長挨拶

### 会長挨拶

第 8 回生 児童教育学科幼児教育学専攻 小林ひかり



同窓会会員の皆様におかれましては、ますますのご清福にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より、当会の運営、活動にご指導ご鞭撻を賜り心より御礼申し上げます。

突然ですが、先日、会社勤めをしている友達からの話の中で次のような話題が出ました。ある 26 歳の社員さんにファイリングを頼んだところ中の書類がガタガタでファイルからはみ出ているそうです。本人、穴あけパンチを初めて使ったそうなのですが、真ん中に印をつけてこのマークに合わせてパンチすると書類が綺麗にそろうんだよと教え、ちょこっと小言、普通は揃えるでしょう、、、と言うと返ってきた返事は、「普通って何ですか？こちらはちゃんとファイリングしろと言われた通りにしたまでで、言われたことをやったのになんで怒られなきゃいけないんですか。それなら最初からそのように揃えてと言えばいいじゃないですか」でした。

皆さんはどちら側でこの話を受け止めますか？

私はもちろん友達に同情し大変だねと。全く最近の、、、とお決まりのセリフもいたしかないと思いました。「私たち、一を聞いて十を知るって言われ、やってきたわよね。」と友達。ま、私も大きくなづけるか自信はありませんが、それでも何をすべきかから導かれるプラスアルファは心掛けたり、相手が喜ぶこと、助かることを考えて行動したりはしてきました。とはいえ、「私たちが先輩からは、最近の若い者は、、、と思われていたんじゃないかな～その後輩君、しっかり育ててあげてね。」と話しました。

もしかしてこの 26 歳さんは、気をまわして勝手にやったことに、かえってやってもらわないほうがいいことのほうが多く、「まったく、余計なことを、、、言われたことだけをすればいいん

だよ」と怒られたりしてしまう経験から、指示されたこと以外はやってはいけないと思っているのではないのでしょうか。

親切心から、水を差したとしてもどが渴いていない人は今はいらぬよとなります。反対にカラカラの人には救いの 1 杯となることでしょう。

それを見極めるにはやはり日頃からのコミュニケーションとおもいやりが大事なのではと私は思います。そしてそれらは小さい時からのかかわりにも関与していると思います。保育、教育、子育てなどにかかわっている方が多いと思いますが、スマホ片手ではなくきちんと目と目、肌と肌でかかわりあっていくことの大事さに今一度おもいをはせていきませんか？そして、大人との関係、職場でのかかわりの中でも互いに尊敬しあえる関係を築いていけたらいいなと思いました。若い方たちの感性は素晴らしく、びっくりするような発想をしたりして感心させられることがあります。若い方々におかれましては素敵な先輩に出会っていただきたい。そして、私自身、素敵な先輩でありたいと思い、日々、先輩方から、友人から、また子ども達から学ぶ毎日です。

秋桜会も、今年も新しい役員さんを迎え、みなさんの、意見を色々聞かせていただきながら発展に寄与してまいりたいと思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。

我が校の高校 PTA 主催の高校生保護者の「本学キャンパス見学」会でのアンケートでは「学生が明るく挨拶をしてくれ、こんなきれいな大学、私が入学したいくらいだわ」との声も多く聞かれているそうです。

キャンパス内外とてもきれいになっていく母校で毎年開催されている純真祭に合わせて「秋桜会総会（同窓会総会）」を開催しております。本年度は 10 月 21 日の開催予定です。多くの卒業生のご参加お待ちしております。ぜひ、旧友との再会の場としてもご利用いただけたらと存じます。

秋桜会では私たちと共に活動にご協力いただける方を随時募集しております。

最後になりましたが会員の皆様のご発展、ご健勝を祈念いたしまして挨拶に代えさせていただきます。

## 学長挨拶

### 卒業生のみなさま

今年こそ、一度、母校へ・・・

足を運んでみてはいかがでしょう・・・

学長 藤田利久



第 1 回卒業のみなさんはお子さんも大きくなられ、お孫さんももういらっしゃるかもしれませんね。

そうなのです。

早いもので本年は埼玉純真短期大学の創立 35 周年なのです。

創立記念の大々的なイベントは本学ではございませんが、東京ディズニーランドが本学の 35 周年をお祝いしてくれ

ていると勝手に思い込んでおります。

母校も卒業したあの日から少しずつではありますが、変わりつつあります。

まず、「大陸食道」しか見当たらなかった 1 2 2 号線沿いにも、多くのレストランや家電量販店が立ち並び、またスーパーマーケットも今夏には新規開店します。すでに羽生総合病院が病床を増やし大規模病院として、5 月 1 日からは本学の隣に移転しました。さらに 1 2 2 号線と 1 2 5 号線の交差点にも大型商業地も着々と工事が進められているのです。岩瀬地区グローバルタウンと銘打った活動も始まっております。

このような変化が激しい周辺ですので、最近 5 年間に本学の近くにいられていない卒業生のみなさんは、本学がどこにあるのかと迷われるかもしれません。

母校とは言えば、教室も補助金を獲得して ICT 機器が整備さ

れ、部屋の雰囲気に合わせたカラーカーペットの上を可動式の机や3色の椅子がおかれ・・・ここでは、今、話題のアクティブ・ラーニング形式での授業も行われています。さらに学生からの要望によりトイレも大改装、ピンクのドアを開けると純真カラーのトビラの中は落ち着いた個室。“Cooooo!” “Nice!” と学生たちも声をあげて喜んでいます。

また、本学は地域貢献活動でもいろいろなことに取り組んでおります、そのひとつの公開講座も6月から開講となります。9月8日(土)は河田羽生市長や秋本教育長をお招きして修了式とランチでのブッフエパーティをおこないます。卒業生のみなさんもお時間を作って1日だけでも受講してみませんか？

地域連携協定では羽生市や行田市教育委員会とも協力協定を結

び、羽生第一高校、進修館高校・誠和福祉高校とは高大連携協定、インドネシア共和国バリ州にある STIBA Saraswati, Denpasar. (サラスワティ外国語大学) や Universitas Pendidikan Ganesha (国立ガネシャ教育大学) と交流協力協定を締結しています。また、現在、近隣のものづくり大学や平成国際大学との交流を進め、大学連携で地域活性化に貢献しようと取り組みを始めています。

このような様子をぜひ10月に開催される秋桜会(同窓会)総会に参加がてら、足を運んでいただければと存じます。

このような本学の変化し続ける母校の様子は本学のホームページをご覧ください( <https://www.saijunshin.ac.jp/> )

## 授業紹介「細田ゼミ」

細田ゼミには、絵本の読み聞かせや素話の他、物語や映画等について興味関心のある学生が集まります。これまでのゼミでの学びの他に、二年前から、学生の発案により、物語に登場するお菓子を作るという企画も始めました。学生自身が案を出し、レシピ本から選び、グループに分かれて作ります。

二年前は、『ぐりとぐら』のホットケーキと、丸いドーナツを作りました。去年は、ジブリ好きも多く、「ハク」のくれたおにぎりや、レモンパイ、スバゲティなどバラエティに富んだものが出来ました。今年も学生達はとても乗り気で、楽しみに考えています。絵本の楽しみの一つに、「食べてみたいものが出てくる」「愛情とともにある食事の良さに気づく」ことがあると思います。手作りの温かいものを、物語の世界を共有しながら共に食べること、片付けまで分担することの意義を、実践を通して実感しています。これからも続けていきたい実践です。



### 秋桜会総会を開催します

#### 【秋桜会総会】

開催日時：平成 30 年 10 月 21 日 (日) 13:00～

開催場所：埼玉純真短期大学内 マナー教室

◎同封いたしました、秋桜会総会への出欠席のはがきの返信につきましては、10月11日(木)までお願いいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 同窓会(クラス会)開催の支援について

秋桜会では、同窓会(クラス会)を開催するにあたり告知用の往復はがき代(100円×クラスメイトの人数)についての費用負担をするという支援を行っています。

こちらの支援をご希望の方は、下記秋桜会事務局へ代表者の卒期・学科・お名前・住所・電話番号・整理番号を明記し、ハガキ又は封書にてご連絡・問い合わせ下さい。

### 秋桜会からのお願い

#### ◎住所・氏名変更について

住所・氏名等が変更になられた方は、必ずお知らせください。

#### ◎お問い合わせについて

この会報に記載されている全ての記事に関するお問い合わせについては、お手紙、もしくはハガキにて下記の住所へ送付願います。お電話でお問い合わせいただきましても、即時回答することができません。回答には少々お時間をいただくこととなりますが、そのような方法でお願いいたします。また、お手伝いいただける方、住所、氏名変更された方も下記の住所へご連絡ください。

お問い合わせ先：埼玉純真短期大学秋桜会事務局

〒348-0045 埼玉県羽生市下岩瀬 430





## 授業紹介「沐浴演習」



もうすぐ保育実習が始まります。学生達も、保育実習に向けて様々な準備をします。乳児保育の授業では、乳児の援助方法を学ぶ他、赤ちゃんをお風呂に入れる沐浴の授業も行います。はじめにエプロンと三角巾を付け、衛生面に気を配ります。次に、赤ちゃんの沐浴をした後のタオルや、服の準備をします。「わー小さい洋服」や「赤ちゃん可愛い」の声が聞こえます。特に赤ちゃんの援助をしていく上で大切なことは、赤ちゃんが安心出来るような声かけです。

そこで、学生には、グループで赤ちゃんの名前を付けて、愛情たっぷりにかかわられるよう名前をつけてもらっています。「わたるくん」「まりちゃん」など思い思いの名前で声をかけながら、沐浴しています。本物に近い赤ちゃん人形に、「頭が重い」「腕が痛い」など体感しながら、悪戦苦闘する姿や上手に沐浴する様々な姿がみられます。

やはり何事も経験してみることが学生の力になります。純真では、理論と実践が融合し、アクテブに学ぶ教育を目指しています。

## 34 回生 秋桜会役員のご紹介

今年 3 月に卒業され、今年度より秋桜会役員として、ご活躍して下さいます新役員の方々をご紹介します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

有田加奈子	埼玉県認定こども園で 2 歳児の担任をしています。子ども達と毎日楽しく生活し、幸せな日々をおくっています。たくさん褒めて成長していけるよう頑張りたいです。役委員会の方も精一杯がんばりますのでどうぞよろしくお願い致します。
石川 千優	埼玉県のこども園(教育部)で 3 歳児副担任をしています。毎日学びの日々ですがこどもたちが楽しく過ごせるように頑張っています！役員会の方もがんばります！よろしくお願いします！
折川 華南	この度秋桜会役員になりました、折川華南です。今年の 4 月からさいたま市内の施設保育士として、現在は子どもたちと楽しくも充実した毎日を過ごしております。仕事はもちろん、秋桜会の活動にも積極的に参加できたらいいなと思います。よろしくお願い致します
黒沢 帆香	埼玉県のこども園で 0.1 歳児の担任をしています。毎日毎日先輩先生たちと一緒に頑張っています！役員会の方も頑張っていきたいです！！
白根 由唯	保育園で 2 歳児の担任をしています。元気な子どもたちに負けないよう日々頑張っています。役員としても頑張っていきますのでよろしくお願いします。
鈴木 杏奈	新役員になりました、鈴木杏奈です。現在は幼稚園で働いています。仕事も役員も精一杯頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
杉山 陽菜	保育園で 1 歳児の担任をしています。子どもたちの笑顔に癒されながら日々頑張っています。役員会の方もこれから頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします
古池 美樹	茨城県の保育園で 2 歳児の主担任をしています。毎日毎日学びの日々ですが子ども達と共に成長していけるように精一杯頑張っています！役員会の方も精一杯がんばります！よろしくお願いします！
山田 恵莉	保育園で 2 歳児の担任をしています。保育の仕事と秋桜会を両立して頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。
吉澤佳奈子	認定こども園に就職をし 2 歳児の担任になりました。日々の子どもの成長を見守りながら、秋桜会での活動も頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。
白岩 桃果	新役員になりました白岩桃果です。現在は保育園で 2 歳児の担任をしています。可愛くて、元気いっぱいな子供たちと共に毎日楽しく過ごしています。秋桜会の役員としてこれから一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



以上の方々の他に、白岩 桃果、山崎 美波、冷水 佳澄、千歳 優里、中井 咲歩、飯田 春奈、小川 祐未、田口 瑞季、佐久間 静香、澤崎 真理さんがいらっしゃいます。

## ブータン、寄居陸上競技選手権大会に参加

小林 ひかり

この度、娘が「ブータン×寄居陸上競技選手権大会 2018」に関わらせていただきました。

娘の通う寄居北城高校は、自宅から自転車で 30 分ほどのところにあります。その寄居町は、2020 年東京オリンピックのブータン王国オリンピック陸上チームの事前キャンプ地となっています。2016 年、2017 年には、10 代の陸上選手たちがブータンから寄居町に訪れ、トレーニングを行いました。来日した選手に母国での日々の練習や大会がどのようなものなのかを聞いてみると「コーチがいない」「ハードルやストップウォッチなど必要な物がない」「陸上競技場は国に 1 つしかなく、全国大会のような大規模な大会はまだ開催されたことがない」といわれ、とても驚きました。娘や陸上部の仲間は、自分たちの練習環境や大会に出る機会があることをあたりまえではないと頭でわかっていたつもりでも、目の前に同じように陸上に打ち込む同世代の選手から聞いた現実の話にとてもショックを受けたようでした。

そんなとき、役場の方から「ブータンオリンピック委員会の方がブータン初の全国大会の開催を検討している」と伺いました。選手にとって素晴らしいことが進行されていると思い聞いていると、どうやら大会開催の資金が不足しているとのこと。日本では選手が大会登録費を出して出場するのが当たり前で、資金不足により大会が行われないという話は聞いたことがありません。ですが、ブータンでは状況がかなり異なるようです。

そこで、寄居城北高校陸上部の生徒と寄居町役場の有志で、ブータン初の陸上全国大会開催を応援したいと思い、委員会を立ち上げました。娘と、同じ陸上部の山口さんと二人、開催されるブータンでの全国大会に参加。現地の学校を訪問し日本や寄居の事を伝えるなどの交流、帰国してから、ブータン報告会をするという一連の流れを企画し、SNS などを利用した「クラウドファンディング」という方法で、資金集めから活動が始まりました。親である私も、あちこちで趣旨を話し、Facebook などの告知でみなさんにご協力いただきました。ブータンを応援したいと言っている娘をみなさんが応援してくださる…応援される側でもある立場で、ほんとうにたくさんの方からの温かい支援をいただき、目頭が熱くなる思いでした。無事、目標金額 100 万円を上回る約 130 万円ほどが集まり、開催資金の寄付、ストップウォッチなどの必要な品々も届けることが出来ました。

そしてついに、ブータン初の陸上全国大会の開催。各種目激戦が繰り広げられブータン初となる、公式チャンピオンが誕生しました。娘は元陸上選手の為末大さんたちとチームを組んで、400 メートルリレーで準優勝、賞金が出ましたがもちろん、資金にあててもらいました。帰国した娘から、現地の選手たちと言葉は通じなくても、同じように高みを目指す仲間として分かり合える時間を共有できたと聞きました。

現地の学校訪問では、ティンプー市内のヤンティプー高等学校を訪問して、先生や生徒たちの温かい歓迎をうけ、そこで日本や



寄居町の事、自分たちの高校生活を英語で紹介しました。質問を受けたり、一緒に写真を撮ったりと交流を深めたそうです。

帰国後は、5 月 27 日に寄居町の中央公民館にて、この事業の報告会を開催しました。自分たちの体験したこと、感じたことを交え、スライドで発表、そして同行してくださった元陸上選手の為末大さんと写真家の関健作さんを交えてのトークセッションも行われて、大会や学校の様子、食べ物の事、町の様子、子供たちのおやつ、とブータンでのさまざまな話題も飛び出し和やかな雰囲気での報告会となりました。

その後の懇親会では、地元の皆様そしてクラウドファンディングにご協力くださった千葉県や京都府の方々が、交通費をかけ来場くださり、皆様のいろいろないきさつ等をお聞きすることができました。ブータンを応援したいという気持ちで動き出し、今までに関わりのあった方はもちろん、今回の活動によって知り合えた方々、そんなたくさんの方々の皆様お一人お一人に、心から感謝しています。

また子どもを持つ一人の親としては、同行くださった方、先生方からも「(娘が) 成長したよね。」とのお言葉を頂き感無量です。

きっとこの貴重な体験は彼女たち、関わられた私たち皆の大切な思い出の 1 ページになると同時に、かけがえのない心の財産となったのではないかと思います。この経験を生かし、また恩返し、恩送りができるようこれからの成長を見守ってまいります。本当に、ありがとうございました。

PS、ブータンに行ったことがある方々みなさん、一生に一度は行ってみたいよ、とおっしゃいます。ぜひ、みなさんも行ってみてください。

そして 2020 年オリンピック、日本を応援するのはもちろんですが、ブータンの選手にも温かい応援、ぜひよろしくおねがいします！

### 目次

P1：秋桜会会長挨拶  
埼玉純真短期大学学長挨拶

P2：純真祭のご案内  
授業紹介「細田ゼミ」  
秋桜会からのお知らせ

P3：授業紹介「沐浴演習」  
34 回生 秋桜会役員のご紹介

P4：ブータン×寄居陸上競技選手権に  
参加